

2016年度の社会貢献活動について

公益社団法人リース事業協会

はじめに

リース契約が終了した物件は、ユーザーからリース会社に返還いただいた後、リース会社においてリユース(再利用)・リサイクル(再資源化)が行われています。公益社団法人リース事業協会(以下、協会といたします。)の社会貢献活動では、このリース業界の特色を活かし、会員会社からリース終了パソコンの無償提供を受け、整備及びソフトウェアの搭載等を行った上で、自然災害で被災した地域を支援する非営利法人や特別支援学校へ寄贈する活動を2011年度から行っています。

また、会員会社が所在する地域への社会貢献活動として、社名変更・本社移転等があった会員会社から地元の特別支援学校に対し、発送作業の練習用教材として廃棄予定の封筒を寄贈する、あるいは、封筒に修正シールを貼り、再利用が可能な封筒にする作業を依頼する活動を行っています。

2016年度のリース終了パソコン寄贈活動において特徴としてあげられるのは、大規模な自然災害が複数発生し、災害支援のニーズが多い一年であったということです(表1)。

本稿では2016年度の社会貢献活動についての報告と2017年度の活動計画をご紹介します。

表1 2016年度リース終了パソコン寄贈実績一覧

| | 寄贈先 | 寄贈台数 |
|-------------------|-----|------|
| 東日本大震災復興支援活動 | 21 | 42台 |
| 熊本地震の被災地支援活動 | 51 | 81台 |
| 上記以外の自然災害の被災地支援活動 | 2 | 10台 |
| 特別支援学校に対する支援活動 | 10 | 20台 |
| 総計 | 84 | 153台 |

1. 東日本大震災復興支援活動

[対象:被災3県(岩手県・宮城県・福島県)]

2011年3月11日に発生した東日本大震災に対する復興支援活動では、引き続き、復興庁「被災者支援コーディネート事業」による現地とのマッチング作業を通じて、岩手県・宮城県・福島県において教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人21法人にリース終了パソコンを42台寄贈しまし

た^{*1}(表2)。

震災から6年がすぎ、震災直後は約47万人であった避難者は約13万人まで減少し、仮設住宅等の入居戸数は最大約12万4千戸から約4万5千戸まで減少しましたが^{*2}、依然としてその数は多く、また、岩手県・宮城県・福島県から自県外へ避難している方は約4万6千人に上っています^{*3}。

住宅に関する問題を抱えている地域もあり、また産業・商業地域の整備が未完成であるこ

とから「生活ができる町」への再生がまだ不透明な地域もあります。さらに、仮設住宅で形成されたコミュニティーが震災復興住宅への転居が進む中で崩れてしまう影響等も懸念されています。そのような中、地域で活動をしている非営利法人では、買い物や通院が不便な方々への移動サービス支援や、地域で暮らす方が講師となるパソコン教室を企画し、人々が互いにつながる仕組みを作ること、子どもやひきこもりの方々の居場所を提供する等

の活動を行い、地域や人々を支えています。

- ※1 リース終了パソコンの寄贈活動に際しては、日本マイクロソフト(株)のシチズンシップライセンス (Windows 7・Office2010) を活用させていただいています。
- ※2 2017年1月復興庁公表「東日本大震災からの復興の状況と取組」より
- ※3 2017年3月8日消防庁災害対策本部公表「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第155報)」より

表2 寄贈先法人一覧

| | 寄贈先法人名 | 活動拠点 | 寄贈台数 |
|----|--------------------------|------|------|
| 1 | 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会 | 宮城県 | 3台 |
| 2 | 特定非営利活動法人のんのりのだ物語 | 岩手県 | 1台 |
| 3 | 特定非営利活動法人大熊町ふるさと応援隊 | 福島県 | 3台 |
| 4 | 特定非営利活動法人吉里吉里国 | 岩手県 | 1台 |
| 5 | 特定非営利活動法人かまいしリンク | 岩手県 | 1台 |
| 6 | 認定特定非営利活動法人桜ライン311 | 岩手県 | 2台 |
| 7 | 一般社団法人プレーワーカーズ | 宮城県 | 3台 |
| 8 | 一般社団法人三陸駒舎 | 岩手県 | 1台 |
| 9 | 特定非営利活動法人さんりくWELLNESS | 岩手県 | 1台 |
| 10 | 特定非営利活動法人陸前高田まちづくり協働センター | 岩手県 | 1台 |
| 11 | 特定非営利活動法人レスキューストックヤード | 宮城県 | 1台 |
| 12 | 一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校 | 岩手県 | 1台 |
| 13 | 社会福祉法人七ヶ浜町社会福祉協議会 | 宮城県 | 10台 |
| 14 | 一般社団法人ユナイテッドグリーン | 岩手県 | 1台 |
| 15 | 特定非営利活動法人エムジョイ | 岩手県 | 2台 |
| 16 | 特定非営利活動法人水守の郷・七ヶ宿 | 宮城県 | 1台 |
| 17 | 一般社団法人雄勝花物語 | 宮城県 | 1台 |
| 18 | 特定非営利活動法人いなほ | 岩手県 | 2台 |
| 19 | 特定非営利活動法人 SAVE IWATE | 岩手県 | 2台 |
| 20 | 公益財団法人共生地域創造財団 | 宮城県 | 2台 |
| 21 | 特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会 | 宮城県 | 2台 |

2. 2016年熊本地震の被災地支援活動

[対象：熊本県・大分県]

2016年4月14日と16日の2回にわたり熊本地方を襲った震度7の大地震は、死者・負傷者約3千名、住宅の全壊・半壊・一部破損が

約20万棟、地震発生直後の避難者数は約20万人という規模の大災害となりました^{※4}。その後も長引く余震と、豪雨も重なったことにより、復旧復興作業は困難を極めました。

協会では緊急支援として、発災直後に災害ボランティアセンターで活用いただくため

に、社会福祉法人熊本県社会福祉協議会に10台、社会福祉法人中央共同募金会に9台のリース終了パソコンを寄贈し、災害ボランティアセンターにおいて、各地から応援にかけつけた職員に活用いただきました。

その後、被災各地で支援活動を行っている非営利法人と連絡をとりリース終了パソコンのニーズを伺ったところ、使用予定のパソコンが故障している、支援先で使用するパソコンを持っていないなどのニーズが確認できたケースで寄贈を進めるとともに、協会ホームページに被災地支援活動を行う非営利法人へリース終了パソコンを寄贈する案内を掲載し

ました。

また、支援を行う非営利法人の事務効率が向上し、支援活動がより円滑に行われることを目的に、日本財団の「平成28年熊本地震災害に関わる支援活動助成」の助成を受けながら被災地で支援活動を行っている非営利法人への寄贈も行いました。

これらの活動により、計51の非営利法人へ81台のリース終了パソコンを寄贈しました^{*1}(表3)。

※4 2017年3月31日消防庁応急対策室公表「熊本県熊本地方を震源とする地震(第100報)」より

表3 寄贈先法人一覧

| | 寄贈先法人名 | 本部所在地 | 寄贈台数 |
|----|-----------------------------------|-------|------|
| 1 | 社会福祉法人熊本県社会福祉協議会 | 熊本県 | 10台 |
| 2 | 社会福祉法人中央共同募金会 | 東京都 | 9台 |
| 3 | 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン | 広島県 | 2台 |
| 4 | 特定非営利活動法人グッドネーバース・ジャパン | 東京都 | 2台 |
| 5 | 一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター | 東京都 | 3台 |
| 6 | 一般社団法人さくら福祉会 | 熊本県 | 2台 |
| 7 | 特定非営利活動法人鍼灸地域支援ネット | 滋賀県 | 1台 |
| 8 | 特定非営利活動法人大分県防災活動支援センター | 大分県 | 3台 |
| 9 | 社会福祉法人宇城市社会福祉協議会 | 熊本県 | 3台 |
| 10 | 特定非営利活動法人フォルダ | 岩手県 | 1台 |
| 11 | 一般社団法人パーソナルサポートセンター | 宮城県 | 1台 |
| 12 | 特定非営利活動法人くまもと障がい者就労支援ネットワーク | 熊本県 | 1台 |
| 13 | 特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム | 熊本県 | 1台 |
| 14 | 一般社団法人志誠会マチと医科学研究所 | 熊本県 | 1台 |
| 15 | 特定非営利活動法人みずのとらベル隊 | 熊本県 | 1台 |
| 16 | 特定非営利活動法人凸凹ライフデザイン | 熊本県 | 1台 |
| 17 | 特定非営利活動法人ライフケアサポート協会 | 福岡県 | 1台 |
| 18 | 特定非営利活動法人アレルギーを考える母の会 | 神奈川県 | 1台 |
| 19 | RAC(特定非営利活動法人川に学ぶ体験活動協議会)救援隊支援ネット | 東京都 | 1台 |
| 20 | 公益財団法人熊本YMCA | 熊本県 | 3台 |
| 21 | 認定特定非営利活動法人みんなの夢の音楽隊 | 東京都 | 1台 |
| 22 | 特定非営利活動法人親子ネットワークがじゅまるの家 | 鹿児島県 | 1台 |
| 23 | 公益社団法人日本鍼灸師会 | 東京都 | 1台 |
| 24 | 特定非営利活動法人ふくい災害ボランティアネット | 福井県 | 1台 |
| 25 | 一般社団法人日本ボーイスカウト熊本県連盟 | 熊本県 | 2台 |

| | | | |
|----|------------------------------|------|----|
| 26 | 特定非営利活動法人となりのかいご | 神奈川県 | 1台 |
| 27 | 社会福祉法人清浄園児童家庭支援センター「和」やわらぎ | 大分県 | 1台 |
| 28 | 一般社団法人やまと災害ボランティアネットワーク | 神奈川県 | 1台 |
| 29 | 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 | 長野県 | 2台 |
| 30 | 一般社団法人防災機器検査協会 | 東京都 | 1台 |
| 31 | 特定非営利活動法人School Green Japan | 愛媛県 | 1台 |
| 32 | 特定非営利活動法人チーム絆 | 東京都 | 1台 |
| 33 | 一般社団法人夢ネットはちどり | 熊本県 | 1台 |
| 34 | 一般社団法人災害復興支援協議会タッシュ隊大阪 | 大阪府 | 1台 |
| 35 | 認定特定非営利活動法人遠野山・里・暮らしネットワーク | 岩手県 | 1台 |
| 36 | 特定非営利活動法人えん | 熊本県 | 1台 |
| 37 | 社会福祉法人熊本県社会福祉協議会熊本県保育協議会 | 熊本県 | 1台 |
| 38 | 特定非営利活動法人S Kウェルネス | 熊本県 | 1台 |
| 39 | 一般社団法人情報センターFais | 福島県 | 1台 |
| 40 | 特定非営利活動法人震災リゲイン | 東京都 | 1台 |
| 41 | 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター | 宮城県 | 1台 |
| 42 | 公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 | 東京都 | 1台 |
| 43 | 公益社団法人中越防災安全推進機構 | 新潟県 | 1台 |
| 44 | 特定非営利活動法人コレクティブ | 熊本県 | 1台 |
| 45 | 特定非営利活動法人ひびきの郷 | 熊本県 | 1台 |
| 46 | 特定非営利活動法人五島あすなろ会 | 長崎県 | 1台 |
| 47 | 一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 | 熊本県 | 1台 |
| 48 | 一般社団法人東の食の会 | 東京都 | 1台 |
| 49 | 社会福祉法人ながよ光彩会 | 長崎県 | 1台 |
| 50 | 公益財団法人共生地域創造財団 | 宮城県 | 1台 |
| 51 | 特定非営利活動法人ボランティアインフォ | 宮城県 | 1台 |

〈リース終了パソコンの活用例〉



3.1.2. 以外の自然災害の被災地支援活動

〔対象：鳥取県・新潟県〕（表4）

①鳥取県中部地震災害支援活動

2016年10月21日に発生した鳥取県中部地震は最大震度6弱を記録し、31名の負傷者と、全壊・半壊・一部破損の住宅が約1万5千棟にのぼる被害が発生しました^{※5}。

協会では、発災直後に社会福祉法人中央共同募金会と連絡をとり、災害ボランティアセンターで活用いただくためにリース終了パソコン5台を寄贈しました。

②新潟県糸魚川市大火災害支援活動

2016年12月22日に発生した新潟県糸魚川市大規模火災は、強風の影響で延焼が広がり、147棟の建物が焼失し、災害救助法が適用される災害となりました^{※6}。

協会では、発災後に社会福祉法人糸魚川市社会福祉協議会と連絡をとり、災害ボランティアセンターで活用いただくために、リース終了パソコン5台を寄贈しました。

※5 2017年3月21日消防庁応急対策室公表「鳥取県中部を震源とする地震（第30報）」より

※6 2017年1月20日消防庁公表「新潟県糸魚川市大規模火災（第13報）」より

表4 寄贈先

| 寄贈先団体 | 寄贈台数 |
|-------------------|------|
| 社会福祉法人中央共同募金会 | 5台 |
| 社会福祉法人糸魚川市社会福祉協議会 | 5台 |

4. 特別支援学校に対する支援活動

①各地の特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈 〔対象：全国〕

今年度の特別支援学校宛でのリース終了パソコン寄贈活動では、熊本地方を襲った大地震の影響を考慮し、先ず熊本県・大分県内に

所在する特別支援学校へリース終了パソコン寄贈のご案内をしました。その後、全国の特別支援学校のうち、パソコン整備率（文部科学省学校基本調査）等を勘案し、滋賀県・石川県内の特別支援学校へご案内をし、応募のあった10校に合計20台のリース終了パソコンを寄贈しました^{※7}。

※7 リース終了パソコンの寄贈活動に際しては、日本マイクロソフト(株)のシチズンシップライセンス（Windows7）を活用させていただいています。

②各地の特別支援学校に対する作業学習用教材の提供 〔対象：全国〕

協会では、社名変更・本社移転等があった会員会社の協力を得て、封筒への修正シール貼付作業の依頼や、廃棄予定である封筒を、その会員会社の所在する都道府県の特別支援学校へ提供する活動を行っています。

昨年度に引き続き、封筒の寄贈を行った滋賀県では今年度から「しがしごと検定」が実施されています。受験をする生徒にとり、「より良い級の取得を目指す」という励みになっている様子であるとのことでした。年に2回実施される検定に向け、事務補助練習（作業先の仕分け・宛名ラベル貼付・書類の三つ折り・封入・封緘）の練習用に利用したいとのご要望をいただき、県内2つの特別支援学校へ封筒を提供しました。併せて、3つ折りの練習の際にご利用いただくために、協会事務局より使用済み用紙を提供しました。

東京都内での封筒の活用例は、提供先の特別支援学校の作業学習の中で、ラベル貼付・封入・封緘・押印の練習をする他、再生封筒や紙製バックを作成する等でもご利用いただいています。また、その他の教材として協会事務局からもピッキング練習用の月刊リース、様々な大きさ・仕様のパンフレット、使

用済み切手・用紙等を提供しました。

この他、会員会社からは本社移転に伴う封筒の修正シール貼付作業やパンフレットの差

し込み・セット等の作業を提供いただき、合計6校の生徒に「企業から依頼された仕事」として作業をしていただきました。また、今

表5 作業を行った生徒の様子

| | |
|--|---|
| <p>生徒は進んで作業に取り組んでいました。「会社から依頼されている仕事です」ということで、みんな興味関心があり、作業時間だけでなく、休み時間にも自分から取り組んでいました。こんなに集中して、しかも自分から取り組む姿をみて嬉しく思いました。</p> | <p>ポチ袋を作成しました。色紙で型抜きした花を、自分でデザインを考え自由に貼りつけました。これを作成している生徒は、この活動が好きで、とても落ち着いて取り組んでいます。休憩なしの1時間半、集中して取り組むことができます。</p> |
|--|---|

表6 作業学習用教材の提供活動

| 教材内容 | 提供先 |
|--|------------------|
| 封筒提供：総計10,788枚 | 東京都 9校 滋賀県 2校 |
| 封筒への修正シール貼付作業：1,000枚 | 東京都 1校 |
| 封筒への社内便フォーマットの貼付・パンフレット差し込みセット・押印・三つ折り・封入・返信用封筒へのマーカー引き：合計3,800部 | 東京都 6校 |
| 使用済み切手等の提供 | 東京都 6校 滋賀県 1校 |

〈封筒の活用例〉



年度は初めて中学部の生徒にも会員会社から依頼された作業に挑戦していただき、一生懸命作業に取り組んでいる様子を担当の先生よりお知らせいただきました(表5)。

これらの活動では、7社の会員会社に協力をいただき、1都1県13校の特別支援学校に対し、作業学習用教材を提供しました(表6)。

③東京都立港特別支援学校の作業学習への協力 [対象：東京都]

協会事務局では、特別支援学校への就労移行支援活動として、東京都立港特別支援学校の作業学習に協力をする活動を行っています。

昨年2年生だった生徒は年下の生徒をリードする先輩となり、格段にリーダーシップを発揮できるようになりました。自分の仕事だけでなく全体を見て、後輩の作業手順が徹底していないところについては積極的に指導をしている姿に頼もしさを感じました。一方、初めて協会の作業学習に参加した2年生は「チーム力」が高いという特長がありました。仲間と相談しながら仕事を進め、話し合いな

がら課題をみつけていくことができ、担当の仕事が終わると、クラス全体に「手伝うことはありませんか。」と声をかけることができる思いやりのある生徒でした。

作業学習の構成は、ビジネスマナー講座・メモをとる練習(毎回2問程度：出題される内容のメモをとり、復唱をする)・発送作業となっており、時間がある時には、数のかぞえ方・3つ折り練習・語彙を増やす、といった内容で短時間の講座を行いました。

年間6回実施された作業学習(表7)の最終回は、毎年当協会の大会議室で行われています。あらかじめ協会までの道順は生徒一人一人が調べ、当日は生徒同士が協力して、引率の先生の手を借りずに無事に協会に到着しました。学校の教室で作業を行っている雰囲気とは違う緊張感の中でも落ち着いて作業を行っていただきました。

作業終了後、1年間協会事務局の発送作業を手伝っていただいた御礼として、生徒に感謝状を贈呈しました。

表7 2016年度の作業学習内容

| 作業学習教材 | 作業学習内容 | 作業学習成果 |
|--------------------|---|--|
| 会員会社宛の郵便物の発送業務 | <ul style="list-style-type: none"> 別納印、学校印(港特別支援学校の生徒が発送作業に携わった旨の表示)の押印 封筒への宛名ラベル貼付 封入物の丁合、封入、封緘 発送数の確認 | 地区代表者会議・実務者会議の案内状、割賦・延払等統計調査表(2016年度上期分)、リース年次統計調査表(2016年度分)合計802通 |
| 月刊リース2016年5月号の発送業務 | 同上 | 社会貢献活動にご協力いただいた関係先への発送分 133通 |

*作業学習は、東京都立港特別支援学校のオフィスサービスコースの生徒15名が参加しました。

5. 2017年度の活動計画

2017年度の社会貢献活動では、以下の3項

目の活動を計画しています。

これらの活動を実施するために必要となるリース終了パソコン及び作業学習用教材につ

いては、会員会社から募集します。

①東日本大震災等の自然災害の被災地に対する支援活動

東日本大震災の被災地支援としては、引き続き、復興庁「被災者支援コーディネーター事業」を通じたリース終了パソコンの寄贈活動を行うとともに、被災3県において教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人に対するリース終了パソコン寄贈活動を継続して行います。[対象：岩手県・宮城県・福島県]

地震・台風等の自然災害における復旧・復興は、様々な課題と向き合いながら、一人一人に寄り添う支援が必要となります。被災地域・人々の生活を支える非営利法人を支援する活動を今後も継続します。[対象：全国]

日本各地では、自然災害による被害が相次いでいます。当協会では、災害発生時に被災地においてリース終了パソコンを迅速にご利用いただけるよう、今後も引き続き準備を進めてまいります。

②特別支援学校に対する支援活動

パソコン整備率等を勘案し、特別支援学校（2～3都道府県）に対するリース終了パソコンの寄贈活動及び会員会社から提供される作業学習用教材を提供する活動を継続します。[対象：全国]

また、東京都立港特別支援学校における就労移行支援活動についても継続します。[対象：東京都]

③社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人に対する支援活動

各地で社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人に対し、その活動を支援するためにリース終了パソコンを寄贈する活動を行います。[対象：全国]

さいごに

今年度の活動の中では、「封筒を提供する活動はまだ行っているか。使用しない封筒があるが活用して頂けるか。」、あるいは「他校から封筒の寄贈を受けた話を伺ったが当校でも活用したい。今年も寄贈活動はされているか。」という問い合わせを会員会社や特別支援学校からいただき、この活動を記憶しご協力を頂けたことに対し、継続して活動をしていくことの大切さを改めて感じました。

協会が社会貢献活動を始めて6年目に入りますが、これまでの活動に満足することなく、様々な方の意見を伺い、課題の洗い出しをし、毎年経験を重ねることにより、よりよい支援の在り方を探っていきたいと思います。

最後になりましたが、リース終了パソコンの寄贈活動及び作業学習用教材の提供活動は、会員会社の協力を得て、沢山の方々に支えられて成り立っています。当協会の社会貢献活動にご協力いただいているすべての企業・団体・教育機関の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

12頁からの別添資料では、リース終了パソコンを寄贈した非営利法人・特別支援学校からいただいた声を紹介しています。リース終了パソコンが各地でお役に立てている様子がうかがえますので是非ご一読ください。

【参考資料】

〈リース終了パソコン寄贈活動の展開〉

| 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 |
|-------------------------|------------------------|--------------------|--------|-----------------------------|--------|
| 被災3県の公的教育機関への寄贈 889台 | | | | | |
| | 被災3県の学校図書館への寄贈 182台 | | | | |
| | | | | 被災3県の工業高等学校への寄贈 40台 | |
| | | | | 被災3県で活動をする非営利法人への寄贈 116台 | |
| | | | | 災害支援における非営利法人への寄贈 101台 | |
| | | 特別支援学校への寄贈 137台 | | | |

〈リース終了パソコンの寄贈実績〉

| 支援活動 | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 累計 |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 東日本大震災復興支援活動 | 524台 | 378台 | 95台 | 74台 | 114台* | 42台 | 1,227台 |
| 2016年熊本地震の被災地支援活動 | — | — | — | — | — | 81台 | 81台 |
| 上記以外の自然災害の被災地支援活動 | — | — | — | — | 10台 | 10台 | 20台 |
| 特別支援学校に対する支援活動 | — | — | 37台 | 44台 | 36台 | 20台 | 137台 |
| 合計 | 524台 | 378台 | 132台 | 118台 | 160台 | 153台 | 1,465台 |

※2015年度は被災3県の工業高等学校向けの分解・組立実習用・プログラミング演習用のパソコン寄贈を含みます。

【リース終了パソコンを提供した会員会社名（2016年度）】

【正会員】

日立キャピタル(株)／東京センチュリー(株)／三菱UFJリース(株)／JA三井リース(株)
興銀リース(株)／芙蓉総合リース(株)

【賛助会員】

J R九州フィナンシャルマネジメント(株)

【作業学習用教材を提供した会員会社名（2016年度）】

【正会員】

東京センチュリー(株)／オリックス(株)／NTTファイナンス(株)
しがぎんリース・キャピタル(株)／富士通リース(株)

【賛助会員】

ひがしんリース(株)／(株)札幌北洋リース

(別添)

寄贈パソコンの活用方法など

*寄贈パソコン応募時に各法人・教育機関からいただいた情報および寄贈後にいただいたお礼等をもとに作成しました。

【東日本大震災被災地支援関係】

(岩手県)

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|---|--|---|
| 地域資源をフル活用し、村一丸となったまちづくりと、震災後からの多様なつながりを最大限に生かした活動を実施。 | 事務作業の為にパソコンは1台しか所有しておらず、雇用確保できたとしても、パソコンが無ければ不便な為。また、説明会やイベント等で持ち歩けるパソコンがあると便利の為。 | 現在、リピーターの確保と地域住民の誇り再生を目的に活動している。継続的な活動のために自走する術を模索している。 本当に助かります。ありがとうございました。活用させていただきます。 |
| 東日本大震災で発生した津波被害を後世に残し、次世代の命を守ること。そして、経験の無い人々に災害への意識を持ってもらい減災を確立し、「まちづくり」に貢献する。 | 当法人で行っている植樹事業に使用する。市内170kmに及ぶ津波最大到達地点に桜の苗木を植え後世に被害を伝えと共に命を守る事業とする。 | いかに中長期的な事業展開を可能にするかが課題だと思っている。 |
| 震災直後は炊き出し・物資配布・避難所での見守りなど。法人設立後からはコミュニティ作り支援・まちづくり・生業再生支援活動など。今後はラグビーW杯の開催、機運醸成事業、国際交流事業など。 | スケジュール・予算・スタッフの出勤管理、イベントチラシ・企画書・報告書作成、業務上のメール等。現在、「ラグビーカフェ釜石」を市からの委託で運営している。その事務作業を行うのにパソコンを必要としている。 | 本格的な復興と新しい街づくりのフェーズに突入しつつある。ラグビーワールドカップが開催されることで、インフラ整備や住民の心の復興や経済効果などが期待される。 この度は、パソコンを寄贈していただき、大変ありがとうございました。さっそく使用させて頂いております。 |
| 中間支援NPOとして復興支援に取り組む市内外の団体の活動に対して、事業実施に向けたアドバイス・情報提供・ネットワーキング等の活動を行っている。 | スタッフが1名加入し、業務を行うためにパソコンが必要となったため。 | 復興からまちづくり、地域づくりへと活動や状況がシフトして行く中、長期的に市民活動の支援に取り組んでいきたい。今後の課題としては、長期の活動ができるような資金獲得を図ることと認識している。 |
| 仮設住宅で健康運動教室を開催し、高齢者の介護予防や孤立予防に取り組んできた。2015年からは仮設住宅から商業施設や病院等までの移動支援を行っている。 | 活動の中で、事業計画の立案・広報活動・人事管理などでパソコンを使いたいと考えている。 | 現在は補助金等を使わせて頂いているが、必要な方々に長く安定してサービスを提供できるような仕組みを考えていきたい。 大切に使用させていただきます。ありがとうございました。 |
| 築90年の古民家を拠点に馬と共に暮らす地域文化の再生。馬の暮らしをベースにしたエコツーリズムやホースセラピーなどを展開し、誰もが心豊かに過ごすことのできる持続可能な地域の未来をひらく。 | 復興支援活動に関わるスタッフによる広報や活動報告等の事務作業、ボランティアによるツーリズムなどの活動報告作成業務など。 | この度はありがとうございます。 |
| 森林保全整備活動と間伐材からの薪等を生産し出荷販売。また、森林環境教育の一環として、地域の子どもたち・若者たちを対象にした森林教室・林業学校などの開催。 | 震災直後の活動から使用していたパソコンが予期せず再起動、シャットダウンするようになったため。 | この度は、パソコンを寄贈していただきありがとうございます。大切に使用させていただきます。 |
| 震災により減少した子どもの居場所づくりを目的とした「放課後子ども教室」やキャンプ「さんつなくらぶ」を実施。震災支援活動を目的として訪れるボランティアの受け入れおよび現地ニーズとのマッチング。 | 今回寄贈頂くパソコンは地元の未来を担う次世代育成事業に関わるインターンシップ生や担当スタッフがチラシを作成したり情報発信を行う際に活用させて頂く。 | |

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|---|--|--|
| 耕作放棄地や塩害農地を活用し、菜の花を育て、菜種油を生産販売し、被災者の生活基盤の安定と心身のケアを行い、収益を地域へ還元する。また、被災地の体験教育ツアー等を受け入れ、住民との交流機会を作るなどし、地域の活性化と住民の意欲的な復興を目指す。 | 事務処理作業やネットカフェやパソコン教室を開催し、住民やボランティア間の交流促進、情報交換の活性化、ITスキル向上を目指したい。 | 恒常的なマンパワー不足により、日常事務業務やボランティア大量受け入れ時またイベント開催時の事務作業、期初期末業務が滞ることが多い。ITソフトやプロのノウハウを得るなどして、改善を図っていきたい。 お力添えに心より感謝致します。 |
| スポーツクラスを定期開催として18種目にわたり展開。仮設住宅では健康体操を提供、小学校ではスポーツレクの実施、地域の企業との共同で、ケーキ作り、野菜の収穫祭、牧場での乳搾り体験会など。 | 経済的な都合により、個人の所有パソコンにて事務処理をしてきた。長期使用による劣化のため買い替えも視野に入れてきたが、経済的に厳しいのが実情であり、希望する。 | 現状沢山の方々の支援を受けて活動しているが、経済的にも自立した活動が出来るような形を目指している。東日本大震災の他、台風10号の影響で甚大な被害を受けた等地域は、経済的にも精神的にも大きな影響を受けた。参加者の経済的負担を軽く、気軽に楽しむを目標として実費程度でのイベント開催となっているが、笑顔と精神的な豊かさを先ず第一の目標にしている。 |
| 市内で生活する内陸被災者の心のケア・孤立防止・生きがいづくりを目的として活動している。 | 企画書・チラシの作成、SNS等で情報発信。また、戸別訪問記録簿を作成し、体調や生活状況の変化を記録、的確な情報提供を行うとともに、必要と考えられる福祉サービスへつないでいく。現在、1台を3名で使用しており非常に作業効率が悪い状況である。 | 現在、内陸避難者が住民と交流を持つ機会がなく、外出機会が非常に少ない状況なので、地域住民と交流する機会を作っていきたいと考えている。 |
| 盛岡市内に避難している被災者約600世帯の生活支援事業を行っている。また、被災者を雇用して和グルミプロジェクト・かごプロジェクト・復興どうきんプロジェクトなどを行っている。 | 各世帯別の状況を記録するカルテ作成・情報発信・製品管理・経理管理等にパソコンを多用している。しかしパソコンが最近経年劣化のため不具合を多く起こすので事務作業用のパソコンを必要としている。 | この度は、パソコンをご提供いただけるとのこと、心より感謝申し上げます。大事に使わせていただきます。今後も復興のため力をつくしてまいります。 |
| 発災後は、支援の届きにくい在宅被災世帯への物資支援や見守り活動による生活相談支援活動から始まり、現在では仮設住宅からの生活再建支援まで拡大して、高齢者や障がいのある方の孤立防止に向けた活動を行っている。 | 生活支援相談業務は日々ニーズが増加しているため、岩手事務所ではスタッフを増加し対応している状況である。今回は、スタッフ増加に伴うパソコンを必要としている。 | 仮設住宅等から課題を抱えたまま、生活再建された世帯が少なくない。複合的な課題を抱える高齢世帯や障がいがある世帯等、地域社会で支える体制が必要とされる状況にある。 先日は、パソコンの寄贈を頂きまして誠にありがとうございました。大事に使わせて頂きます。パソコンは、今後の支援活動に必要不可欠なものです。本当にありがとうございました。 |

(宮城県)

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|---|---|---|
| 地域における総合的な福祉推進事業。 | 新しい集団移転先団地で使用する。 | 集団移転先での自立再建や災害公営住宅への入居が本格化し、新しいまちづくりを住民や行政、関係団体等が協働で行っている。行事・イベントのチラシや帳簿類作成に利用する。 |
| 被災した子どもたちに自由で創造的な遊びの場と機会を提供することによる心の復興と新たなまちづくりに対する子どものより良い環境についての提案。 | 実際の活動は今年度にスタートしたばかりで、資金不足もあり今はまだ設備的に不備が目立つ。パソコンもスタッフそれぞれの私物である。そういった不備の向上のために、リース終了パソコンを使わせていただきたいと考えている。 | |

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|--|--|---|
| 足湯ボランティア、親子支援、浜再生プロジェクトなど様々な活動を行った。又、生きがいつくりや雇用の創出の観点から、「きずな工房」の運営補助も行った。現在は「きずなハウス」を運営しながら、災害公営住宅でのコミュニティ支援等、町民のニーズに合わせた支援を続けている。 | 生きがいつくり、コミュニティ作り支援等での活用。実施要項及び議事録・報告書等の作成。プレゼンテーションでも使用。現状では、事務作業用のパソコンと行事用持ち出しパソコンを共用しており、持ち出す際は事務作業をやりくりしなければならぬ状況である。 | 本日、申請していたパソコンが届きました。ありがとうございます。早速、支援活動に使わせていただきます。 |
| 地域における総合的な福祉推進事業。 | 事務作業をできる方がいる地域とそうでない地域に、大きな差が出てきている。その差を埋め、住民活動を活性化させるためにも、パソコンサークルと協働して、地区単位でのパソコン教室を開催し、チラシ作成など簡単な作業を身に付けていただくとともに、新たな人材発掘のきっかけとなることを狙いとす。 | 地域住民のためになるような事業へと活用させていただきます。 |
| 中間支援・農園復興・瓦礫の除去と耕運作業・被災木被災地域活用・地域コミュニティ創生。 | 現地とインターネットを通じ情報交換を行い事業運営を円滑に行いたい。現在スマートフォンを利用して企画・連絡・製品の受発注を行っているが、やり取りに限界が生じている。今後ホームページを整備していくためにもパソコンが必要である。 | 資金的めどが付き次第、六次産業化で開発した生うどんを製造し流通させていきたい。また、石窯広場を日常的に動かし地域コミュニティ並びに観光につなげることが出来ればと考えている。この度は貴重な寄付をありがとうございました。有効に利活用し社会に貢献して参ります。 |
| 「花と緑の力で故郷復興」を合言葉に被災住民が主体となって庭造り、地域の緑化活動を行っている。学習棟では防災教育及び震災からの復興教育を実践している。講義ではパソコンとプロジェクターを用いて、震災時の映像や多様な資料を提示している。 | 学習棟に備え付けのパソコンがないため随時事務所から持参し、セッティングを行っている。リース終了パソコンをご提供頂けると映像資料を使った説明が常時可能になるので、是非お願いしたい。 | この度はパソコンをご提供いただきありがとうございます。今後の活動にしっかり役立ててまいります。 |
| 東日本大震災で被災したアーティストの支援とアートを通しての心のケア、子どもの育成に関わる支援・地域社会貢献を目的としている。 | 申請書類の作成や報告書、メールでの打合せ、チラシ・企画・デザインの制作など復興活動支援にはパソコンが必要不可欠である。 | 東北3県の被災地支援活動を継続して行うための安定した資金調達とスタッフ育成が今後の課題である。 |

(福島県)

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|--|---|--|
| 県外者を対象としたスタディツアー、町民を対象とした町内視察とまちづくりワークショップ・語り部・講演・仮設住宅・ふるさとまつり等への参加。このような活動を通して、町の現状発信や新しいまちづくりを行っている。 | 情報発信や交流ツールとして活用したい。また、より効率的に団体運営に取り組んでいける環境の整備も行っていきたい。 | 避難指示解除、帰還に向けての動きが見え始めており、より具体的なまちづくりが始まろうとしている。そうした中で、行政と住民の中間的存在として橋渡しを行っていきたくと考えている。また、震災の風化防止や町に帰らないと決めた人達とふるさとの繋がり維持などに寄与していきたい。 |

【熊本地震の被災地支援関係】

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|--|---|--|
| <p>市町村災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営支援を行い、更に被災者の生活復旧と復興のための生活支援相談まで、長期にわたり住民を支える活動を支援している。</p> | <p>発災後すぐに災害ボランティアセンターを運営している。そこで、寄贈いただくパソコンを活用させていただきたい。</p> | <p>たいへんありがたい話を頂き感謝申し上げます。今回の災害は、地震によるものなので、復興までには長い期間を要すると考えられる。私たちも長期戦を覚悟していますので多方面の方々からの長期にわたるご支援とご配慮をお願いいたします。発災直後は各地からの応援職員用に活用していたが、現在は被災者の日常生活支援において、名簿の管理などに使用している。</p> |
| <p>初震・本震ともに当団体の災害救助犬・レスキューチームが出勤し、捜索活動を行った。その後、計100張のテントを設置し、避難所運営を行ったほか、ペット連れ避難者のために同避難所にペット預り所やドッグランを設置するなどペットケアにも努めた。その他、物資配布、ボランティア派遣などを行った。</p> | <p>熊本支援スタッフのパソコンが不足しており、私物パソコンを持ち込んで作業をしている状況。熊本の現地スタッフの事務作業用として使用。</p> | <p>寄贈いただきましたパソコンは熊本事業にあたるスタッフ用として、大切に使用させていただきます。この度は誠にありがとうございました。</p> |
| <p>災害ボランティアセンターの運営支援・職員の派遣。</p> | <p>支援者から寄付されたパソコン（本部）と職員の私物パソコン（熊本）であるため、事務作業用として使用。</p> | |
| <p>避難所運営サポート、車中およびテント泊の避難者への物資配布および子供の遊び場を併設したcaféスペースの運営。避難所4か所で250食程度の炊き出しを提供。ボランティアセンターの運営スタッフおよびサポートボランティアを派遣。支援団体の連携と調整。</p> | <p>熊本での被災者支援活動にあたる常勤スタッフは個人のパソコンを使用。その他、現地臨時職員用に3台のパソコンを持ち出ししている為、東京での臨時スタッフやボランティア用のパソコンが足りない。総務・データ入力作業・資料作成等に使用。</p> | |
| <p>がれきの撤去や片づけ等のニーズにボランティアをマッチングさせながら対応。今後「生活復興支援センター」として、仮設住宅やみなし仮設などの新たなコミュニティづくりの支援活動を行っていく。</p> | <p>ボランティアセンターの事務業務全般。被災者ニーズ調査、避難所およびみなし仮設居住者への見守り、孤立化防止・ボランティアの登録及びマッチング等。</p> | |
| <p>震災後施設に多数の方が避難し、関係団体に緊急物資の呼びかけと配布を行う。避難所として継続管理を任されている。約3か月が経つがまだ1060名の方が避難されている。他の専門スタッフと連携し避難者の健康・衛生面の維持に努めている。</p> | <p>熊本県内外の県職員やスタッフおよびボランティアと協力し掲示物や書類作成をしているためパソコンを開放している。現在、機密情報を入力するための部屋を準備しており、情報管理のためパソコンが不足している。避難者の個人情報など機密情報入力作業に使いたい。</p> | <p>早速、パソコンをご準備いただきありがとうございます。避難所運営に活用させていただきます。</p> |
| <p>緊急支援物資集め・搬送・配送（個人宅・病院）、炊き出し支援活動。</p> | <p>避難所の情報集め（必需品）・活動発信・ボランティアとの連絡。</p> | <p>有難う御座います。大事に使わせて頂きます。</p> |
| <p>炊き出し会場にて鍼灸マッサージと傾聴活動。避難所（福祉避難所を含む）開設中は避難者とスタッフを対象に鍼灸マッサージと傾聴活動を行うほか、保育園や子育てサロンにおける小児鍼灸活動。</p> | <p>パソコンは本部のみ。熊本県の事務所内でカルテ整理・コーディネート業務に使用予定。</p> | <p>この度は私どもにパソコンを寄贈いただきまして本当にありがとうございます。現地事務所を構えるために段取りをしているところでした。被災された方々に、役立てるように活用させていただきます。</p> |

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|---|--|--|
| 大分県防災士養成研修、防災士スキルアップ研修、受託事業・地域の自主防災組織構築の手伝い・防災アドバイザー、学校防災アドバイザー・避難カード作成及び啓発業務・支援活動。被災地での「たこ焼きの炊き出し」を行う。 | WindowsXPのパソコンで、機能動作が鈍くなっている、業務効率を著しく低下させている。持出用パソコンが1台しかないため出張講座等で支障をきたしている。「防災アドバイザー養成塾」の教材・地域で実施する防災活動の座学や講座でパソコンを利用できるように運用する。出張講座等の同時複数実施時に使用する。 | さっそく防災アドバイザーの養成塾で使用いたします。 |
| 避難所運営アドバイス・各学校で講演。 | 支援活動用パソコンはない。自然災害支援・避難所運営専用パソコン。 | |
| 地震発生後、一週間位炊き出し。避難所運営の手伝い。東日本大震災の経験から今後予見されることの助言と対応等を現地で支援。 | 記録媒体として使用。 | 避難所生活から仮設住宅への転居が進むため、転居後も見守り活動により、自立に向けた支援を行っていきたくと考えている。 有効に使わせていただきます。今後とも、ご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。大変ありがとうございます。 |
| 障がい者のメンタルケア・生活相談・傾聴。 | 主に名簿管理・相談内容管理。 | |
| 支援物資の運搬・提供。重機を借りて全壊家屋の解体作業や家屋にビニールシートをかぶせる作業、農地の復旧作業。 | ゲストや外部に持ち出すようなノートパソコンが不足している。ボランティアやセミナーの講師が臨時で使用したり、外部で開催される会議の議事録を作成する場合に使用する。 | この度は寄贈をご検討頂きありがとうございます。阿蘇地域の復興に役立てたいと思います。 |
| 被災者へのボディケア、メンタルケア等の直接支援や、エコノミークラス症候群などの対策ビデオの作製、SNSでの広報など。 | 被災地が広範囲であり、また被災者も多い為、もう1台必要であると感じている。支援活動の記録業務（血圧・体温・日付・参加者など）。 | |
| 情報収集・物資輸送、がれき撤去作業・キャンプ場や公園にてツリーイングやカヌー体験を無料で行っている。 | 地震により事務所のパソコンが起動しなくなった。スタッフ個人のパソコンを使用しているが、同じく地震により通信速度の低下や処理速度が極端に低下している。私物のためデータの一括管理ができない。ノートパソコンがあれば支援先でも気象・河川の情報・被災者に必要な行政の情報等を伝えることができる。事務処理能力の向上改善・支援活動の記録保存とSNS等での情報発信に使用。 | この度は、ご連絡を頂き誠にありがとうございます。支援する側も被災者であり、追い打ちをかけるような余震や雨に私たちも心が折れそうになっていたところへのご連絡で、元気を取り戻すことができました。復興の第一歩は「みんなの笑顔から」をモットーに今後も活動を継続していきますのでよろしくお願い致します。大切に使用させて頂きます。 |
| 障がい者施設利用者の生活支援・在宅障がい者の訪問支援・避難所での生活支援。 | 熊本での支援を継続して一層積極的に行い、また当事業所との連携を深めていくために使用したい。 | この度は、誠にありがとうございます。 |
| 定例会の開催支援・居場所の提供・相談等・啓発活動。 | 障がい当事者団体であり、予算組みも厳しく、これまで個人のパソコンを融通しながら作業をしていたので、パソコンをご寄贈頂ければ、会員等にパソコンで作業（原稿の執筆・編集等）をお願いすることが可能になり大変ありがたい。 | 支援物資の管理のためのパソコンは緊急に必要なためとても助かります。この度のパソコンのご寄贈のご案内につきましては、誠にありがとうございました。パソコンの不足により、十分な支援ができないこともありましたが、大変ありがたく感じております。頂いたパソコンを充分活用できるよう、被災者支援事業に力を入れ、被災者のより良い生活、復興に寄与できるよう活動を進めて参ります。 |

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|--|---|---|
| 長引く避難生活の中で慢性疾患患者への配慮が求められる。東日本大震災時は避難所などで食物アレルギーの誤食事故、病に対する無理解に伴ってアトピー性皮膚炎患者、ぜんそく患者が避難所にいられなくなる事態が相次いだ。熊本地震でも同様の事態が予想される。避難所運営提案者、保健所、栄養士、教職員等に対する情報、啓発資料の提供・研修機会の提供等を通じてアレルギー疾患患者をサポートする。 | 資料の作成、通信用に使いたいと考える。 | 常に活動資金の確保に追われるNPOにとってパソコンの購入は大変な負担です。寄贈いただくと本当に助かります。よろしく願っています。 |
| 発災直後は生活物資等を調達及び提供。その後、シェラフ・段ボールベッドを調達及び提供。避難所統合後は炊飯器を調達及び貸与。個別家庭のテント生活サポート。親子カヌー体験・キャンプ等を継続実施。 | 団体として持ち出せるノートパソコンを所有していないので、もし寄贈いただけるようでしたら本部事務局メンバーが外出先で作業する際に、被災地の支援メンバーとの連絡調整等に活用させて頂く。 | この度はパソコンをご提供頂き誠にありがとうございました。 |
| 炊き出し・小学生の学用品支援等。 | 事務作業全般。 | |
| 子育て支援・イベント開催・スタッフのサポート等。 | 「子育て談話室」とのメールのやりとり、チラシの作成、Facebook等への活動報告。 | この度は素敵な機会をありがとうございます。財政基盤の整わないNPOにとって、パソコン1台買うのも大変であり、いつ故障するのかわからないパソコンを使っています。 |
| 東洋医学的な健康相談及び介護予防運動も含めた養生指導。針・灸術による治療活動。 | 災害支援活動用に持ち運びが出来るパソコンがなく、現地ではボランティアの私物ノートパソコンに頼っている状況である。災害支援活動における事務処理、災害支援鍼灸師養成講座における帳票管理やスライド上映等に利用したい。 | |
| 倒壊家屋からの農機具・貴重品・生活用品の取り出し。指定避難所以外でのケア活動。仮設住宅入居に伴う生活必需品の支援。 | 現地とのメールでのやりとりや活動状況写真の保管。 | ありがとうございました。大変助かります。 |
| 瓦礫やブロック、落ちた屋根瓦礫の撤去。部屋の整理や清掃。壊れた品々のゴミ出し及び不用品の撤去。農業ボランティアとして農家の支援（さつま芋植付け、椎茸原木組み、ニンニク出荷対応等）。ボランティアセンターの活動状況パンフレットを付近住民宅へポスティング実施。 | 活動基地では2台程度使用しているが、共に個人所有のパソコンを持ち込んで対応中であるため、専用に設置して活用していきたい。使用目的は、全国からボランティア受け入れの手続き及び活動状況の取りまとめ、職員との通信、活動状況のアピール等。 | リース終了パソコン寄贈のご案内、誠にありがとうございました。 |
| 阿蘇大橋や俵山トンネルが地震の影響により不通となり、加えて熊本市内などに在住の職員が通勤困難になったため、離職する介護職員が続出している。介護職員が不足し、介護専門職ボランティアの派遣を行っている。在宅生活不安、梅雨・台風による一時的避難高齢者の受け入れが急務となっている。 | 介護専門職ボランティアマッチング・派遣調整などの事務的調整など。 | 南阿蘇村は冬季の山道の凍結に備え、介護専門職ボランティアの派遣システムづくりが必要不可欠となっている。また、遠隔地だからこそできる支援の仕組みを作ることで、今後の非常時における支援方法の確立に寄与すると考えている。 |
| 被災した児童養護施設の児童を当施設で一時的に（4～5日）預かり、児童及び職員のリフレッシュを図る。 | 事務作業・児童の余暇活動・学習支援。 | この度はリース終了パソコンの寄付について、ご案内を頂きありがとうございました。 |
| 県内産の白米・食品・紙おむつ・下着類等を発送。被災地での炊き出し、子ども食堂の開設、生活支援など。 | 支援に必要な様々な文章作成・発信などスピード感ある対応が出来る体制の構築。 | 早速、貴法人の寄贈パソコンを戴き利用を開始しました。ありがとうございました。 |
| 災害ボランティアセンター支援。 | 被災地支援事務。 | |
| | 支援管理・情報収集。 | |

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|--|--|--|
| 住宅の片づけ全般、地区の片づけ、避難所の衛生環境改善活動として、トイレ、手洗い洗面、風呂、調理場の消毒作業と薬品の配布、消毒の指導。 | 法人専用のパソコンは中古WindowsXP、デスクトップ1台なので、OSとしてWindows7以上が必要。 | 今回の寄贈プログラムを継続して実施して頂き、定期的に（3年に1回）更新してもらえるとIT環境の充実が計れると思う。 |
| 保育施設15ヶ所の園児並びに職員の安心安全な保育環境確保のため、各施設内の家具及び備品類の転倒防止対策を行い、園児保護者にも安心を提供する活動。 | 個人所有のパソコンを利用。物理的に使用不可になった場合のバックアップ用としてパソコンが必要。 | |
| 被災住宅の片づけ、掃除、入退院・通院の付添い、仮設住宅への引越し等、現在まで30件延べ86名派遣。 | 事務局において、支援依頼内容と派遣ボランティアのマッチングと支援状況の管理。 | 現在使用中のパソコンが古い（WinXP）ために地図情報の表示が遅く、電話口でリアルタイムに返事が出来ていなかった事が解消できる期待と、持ち運びが出来る機動性が楽しみです。ありがとうございます。 |
| | 熊本と岩手とのノウハウの移転や情報のやりとりを行うためのツールとしての使用を想定している。 | |
| ボランティアバス運行・物資輸送・ブロック崩解体・ガレキ撤去・家具出し。 | 個人所有のパソコンは老朽化による起動不良のため廃棄予定。代替えとして各種資料作成とSNS発信及び講演会でのプレゼンテーションに使用。 | |
| グループホーム入居者への食事提供。弁当を地域へ提供。 | 障がい者の方専用（パソコンでの作業に少しでもなれてもらうため）。 | |
| 保育ボランティア（被災園へ保育士派遣）・「保育士村」開設（避難所へ保育士派遣）。 | データ管理のため。 | |
| 救急セット等の移動。福祉避難所や被災者宅からの病院通院・買物・クリーニング等の移動支援。 | 事業における事務処理用。 | |
| 被災者で交通弱者を対象に移送サービス事業（主に公的機関と日常生活に必要な品物の販売店）。 | パソコンの不具合により増機することと新しい機能に対応出来るようなパソコンを利用し、情報を発していきたいと思っている。 | まだ基盤が不安定な時にこうした寄贈は旧被災地にとっても大変嬉しくありがたいです。パソコンが故障することもあり、また設備投資もままならない中、このような寄贈は大変ありがたいです。過日はパソコンを寄贈頂きまして大変感謝しており助かっております。活用しながら少しでも不器用でも微力でも貢献できればと思っております。体調崩しながらもここまで来まして悔い無いように活動して参ります。 |
| 熊本県内の避難所で鍼灸マッサージによるボランティアによる施術。 | 老朽化がすすみ、WindowsXPを現在も使用している状況（ネット非接続限定）。主に管理業務に利用予定。 | ありがとうございました。 |
| 要援護者の支援。 | HP・ブログ・その他報告資料作成用として。 | |
| 生活再建情報を掲載した紙面の配布で必要な情報を紙で伝達。 | 日常業務。 | この度はありがとうございます。大切に使用していきたいと思います。 |
| 熊本地震で被災した農業従事者への支援。 | 空きパソコンを貸し出ししているが動作不良にて使用できない状況。農業復興ボランティアセンター事務局スタッフの事務仕事用として使用。 | |

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|--|--|--|
| 熊本県DCATの事務局として毎日12～18人の人的支援を行う。現在仮設住宅に対する支援をLifeSupportTeamとして行っている。相談・即支援のワンストップ支援を行い毎日150件の巡回訪問及び20名の個別支援を行っている。 | 活動の記録・個別情報の管理・情報発信。 | 仮設住宅団地の集会所などで使用するため持ち運びやすいパソコンをお願いします。 |
| 五島手延べうどんの炊き出し。被災した障がい者の自宅のガレキ撤去・片付け。熊本県身体障害者福祉団体連合会、被災者情報センターと連携した障がい者介助支援。 | 事業所の利用者が使用できるパソコンがない。五島手延べうどんの発注・発送処理等事務処理用として使用予定。 | |
| 社協・市役所・役場への連結。避難場所での介護・介助・掃除。施設への避難場所（生活提供）。 | インターネットを活用し、当施設機能を活かした支援。生活相談支援事業をサービス利用に適切につなげ、障がいある人も暮らしやすい地域づくりをしたい。障がい者達にパソコンを活用して頂きたい。 | 無理せずに継続してのりを絞り、人間関係と協調性を時間をかけ希薄化しない様、信頼関係に心をつなげたい。よろしくお願いたします。障がい者も練習しつつ頑張ります。有難う御座いました。 |
| 小さい子を持つ保護者とその子ども、保育士など子どもに関わる職業の方や支援者に向けて、災害後の子どものごころのケアに関するセミナー等を開催する。 | セミナー実施後のアンケートを集計するために使用する。 | |
| 企業と共にマッチング商談会を福岡にて2回、東京で1回、販売会（マルシェ）を2回実施した。11月には福岡で開催される九州外食ビジネスウィークにて、熊本の生産者・事業者に出店していただく予定である。 | 個人のパソコンを使用しており団体として共有のパソコンを持ち得ていない状況。熊本での活動におけるSNS・ホームページでの発信、商談会でのパワーポイントの作成や投影に使用する。 | 今回はご寄贈いただき誠にありがとうございます。引き続き東北・熊本の食の分野でインパクトを起こしていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。 |
| 人材派遣（高齢者施設での介護業務）・物資支援（全国より物資を募り被災地への運搬）。 | 災害時の支援活動用については、個人用のパソコンを使用。法人が運営する特別養護老人ホームの施設内にある地域交流センターをイベントや会議等に活用して頂く際に、施設の備品として利用者に貸与する。 | この度は、リース終了パソコンを寄贈頂きまして誠にありがとうございます。頂いたパソコンは今後さまざまな活動に活用させていただきます。 |
| 車中泊避難者を中心とした炊き出し支援・物資支援。被災した地元熊本のNPOへの支援（助成・物資支援）。支援情報の提供。 | 会計ソフト導入用として使用予定。 | 大変助かります。よろしくお願いたします。パソコンの寄贈、ありがとうございます。これからの財団の活動報告作成等に、大切にに使わせて頂きます。 |
| 各地の災害ボランティアセンターや民間NPO等のボランティア募集情報の配信。「熊本ボランティア情報ステーション（VIS）」「崇城大学ボランティアピレージ」でのボランティア募集情報・交通案内等。「福岡・熊本ボランティアバス事業」の運営協力及び運営ボランティアチームの組織。 | 正職員・アルバイト・ボランティアを含め、個人のパソコンを利用。熊本災害に関連するボランティア募集情報の収集および配信。VISで案内するボランティア募集情報、交通情報の収集・整理。 | |

【自然災害の被災地支援関係】

| 支援活動内容 | パソコンの状況・使用目的 | その他 |
|-------------------|---|-----|
| 地域における総合的な福祉推進事業。 | 災害時に使用する専用のパソコンはない。災害ボランティアセンターの活動用として利用する。 | |

【特別支援学校】

(熊本県)

| パソコンの状況 | 使用目的 | その他 |
|--|--|---|
| | 作業学習等での印刷（名刺、カレンダー、ラベル印刷等）をするため、また、体育館にてプロジェクタを用いて映像を映し出す際の専用パソコンとして使用しているが、どちらも画面がドット抜けをしたり、不明瞭なところがあったりと見づらい状態にある。今回寄贈頂けるパソコンは、これらの代替としての使用を考えている。 | |
| 児童生徒が使用するパソコンは、児童生徒数の増加に伴い学級数も増加しており、現状として学級に1台ずつパソコンを配付することが難しい状況である。 | 寄贈していただきましたならば、不足している児童生徒が利用するパソコンとして使用したい。大型画面と連結し、プレゼンテーションを映し出すなどの視覚的な補助教材や児童生徒がインターネット等を利用した調べ学習など日常の学習に役立てていきたい。 | 今回のリース終了パソコンの件、大変ありがとうございました。これから児童生徒のために利用させて頂きませう。本当にありがとうございました。 |

(大分県)

| パソコンの状況 | 使用目的 | その他 |
|---|--|--|
| 生徒1人に1台使用することは難しく、グループでの調べ学習などにも支障をきたしている現状がある。 | 生活単元学習などでの調べ学習や国語・数学などの教科の学習でも使用したい。1人1台は無理でも、2～3人に1台程度使用できる環境があると学習活動がスムーズに行える。 | 有効に使わせて頂きます。 |
| 「情報」の教科では、パソコンの取り扱いやワープロとしての使用法を学習することが多い。しかし生徒数に見合うパソコン台数が確保できていないため、他の授業と共用することが常である。そのたびに、教室間をパソコンが移動する事になってしまい、煩雑になってしまう。 | パソコンを共用せずにすむようにしたい。パソコンを利用する授業・生徒数の関係で、高等部の作業学習で代金集計などで使用したい。 | 本校生徒の学習活動に活用させて頂きたく思います。大変ありがとうございました。 |

(滋賀県)

| パソコンの状況 | 使用目的 | その他 |
|---|---|--|
| | 点字印刷用のXP機3台のうち2台を入れ替えたい。 | なかなかパソコンを購入することは難しい現状がありまして、とても素晴らしいご案内をいただきまして大変喜んでおります。大切に、有意義に活用させて頂きたいと思っております。本当にありがとうございました。 |
| 全校で情報室の使用調整を行いながら、学習で使用している。ノートパソコンは学習に応じて希望クラスに貸し出している。 | 児童・生徒用のパソコンとして学習で使用したい。 | この度は、リース終了パソコンの寄贈、ありがとうございます。 |
| 本校では主としてデスクトップパソコンによる整備がなされていることからノートパソコンは各学部に1台程度の配分にとどまっております。児童生徒が学習に使用する台数が不足する現状にある。 | 社会、理科といった教科学習に加え、分教室で進路学習等の調べ学習等でインターネットを活用しながらノートパソコンを使用したい。 | |

| パソコンの状況 | 使用目的 | その他 |
|--|---|---|
| ノートパソコンはあるが、児童生徒への支援として常時持ち出しているものが複数台あり、学習等で必要時に貸し出しできるパソコンが少ない。 | ノートパソコンは、調べ学習のために使用したり、教師がプロジェクターで映し出すために使用している。パソコンの使い方の学習やローマ字入力、インターネットでの調べ学習などを行っている。 | |
| ノートパソコンのうち古くなり廃棄をしたものがあり、現在、ノートパソコンは教師用1台のみで、児童生徒用のノートパソコンはない。そのため、教室で児童生徒に使用させたい時や肢体不自由の生徒でノートパソコンを利用する方が適している時に使用できるパソコンがない。 | 今までも何度かノートパソコンを購入できなにか検討したが、高価なこともあり実現しなかった。そのため、今回連絡頂いたリース終了パソコンを使用して児童生徒に学習をさせたい。 | この度は、リース終了パソコンを提供して頂き、誠にありがとうございました。貴社より提供して頂きましたパソコンは、日々の教育活動で活用させて頂く予定です。 |

(石川県)

| パソコンの状況 | 使用目的 | その他 |
|---|--|-----------------------------|
| OSがVistaのものがほとんどで、ビデオ撮影した物が画面に映らないことが多い(Windows7の1台を回して使っている)。動きが遅く、すぐに固まってしまう。 | 教材作り・諸帳簿の作成・DVDの作成など。生徒の学習活動では、文章作成・インターネットを使って調べ学習。 | ありがとうございました。大切に使用させていただきます。 |